
2010年度 第4回 音環境運営委員会 議事録

記録:渡辺

- A. 日 時 2010年11月18日(木) 17時00分～19時00分
- B. 場 所 建築学会会議室
- C. 出席者 安藤 啓、大鶴 徹、佐久間哲哉、佐藤(洋)、田端 淳、土田義郎、羽入敏樹、濱田幸雄、平松友孝、平光厚雄、堀之内吉成、峯村敦雄、宮島 徹、吉村純一、渡辺充敏(敬称略)
欠席者 井上勝夫、岡田恭明、佐藤史明、中澤真司(敬称略)
- D. 提出資料
- No.4-0 2010年度 第3回音環境運営委員会議事録(案)(渡辺)
- No.4-1 各委員会等の2011年度活動計画案
- No.4-2 AIJ-ES 作成フロー
- No.4-3 都市・建築空間における音声伝送性能評価規準・同解説<小委員会 FDS 案 2010/11/01>
- No.4-4 都市・建築空間における音声伝送性能評価規準 パブリックコメント等及び回答
- No.4-5 調査研究委員会主催催し物実施計画書(音を巡る空間設計の可能性、室内音響小委員会)
- E. 審議事項
1. 前回議事録確認(資料No.4-0)
 - 一頁目の最終行、メールマガジン運用ルールに関する部分で「広報小委員会の担当幹事と事務局へのメール、確認のみで」を「環境工学本委員会の担当幹事と事務局へのメール、確認のみで」と訂正。
 2. 環境工学本委員会報告(田端主査)
 - 常置委員会の年齢分布野調査結果についての説明があった。環境工学は比較的若めである。
 - 竹中育英会建築研究助成金交付者について3件が採択された。
 - 2011年度大会の応募要領は検討中であるとの報告があった。
 - 2009～2010年度調査研究委員会活動の報告を2011年3月18日に久野委員長が報告される。
 - 会員外の委員についての申し合わせについての説明があった。申し合わせ内容は次の通りであり、2011年度4月以降に就任される委員に適用される。なお、音環境では現時点で7名が会員外。
 - ・ 理由書を提出。書式は追って事務局から示される。
 - ・ 委員委嘱状を送付する場合は、入会案内および入会申込書を同封。また、委員長、主査から入会を勧誘。
 - ・ 他団体に対し委員の推薦を依頼した場合は、申合せの適用外。
 - 退任される学会賞論文部会委員の池田先生、奨励賞委員の濱田先生に替わる委員推薦が求められている。(→審議事項)
 - 2011年度大会の研究協議会のテーマ名が「これからの大都市の安全・安心と環境工学の役割」と決定した。
 - 同大会の研究懇談会のテーマ名が「環境工学研究の最前線と分野連携ー自然・生態環境と人工環境(ビルト・エンバイランメント)の融和に向けてー」と決定した。各分野の最前線について説明すると言う趣旨であるので、音環境についても説明する。
 - 細分類、細々分類は、音は今年度と変わらない。
 - 大会OSは、音環境規準検討小委員会が担当で「集合住宅の遮音性能の測定方法・評価方法」として届けた。
 - 連報は、「連続して複数応募する場合は、各編が独立した内容でなければならない」とルールを明確化する事になった。
 - 2011年度開始特別研究委員会として、カーボン・ニュートラル建材特別研究委員会が承認された。
 - 「第68回音シンポジウムー音響設計実務と数値解析モデリング」が承認された。
 - ・ 関連して、催し物の収支計画において10%の剰余金が出るように計画する必要がある点等に注意するようとの話しがあった。
 - ・ 事務局より、催し物の実施計画は極力早い時期で実施計画を出して欲しいとの話しがあった。テーマ、内容、概略の時期が決まった段階で(最終的な日付、スピーカーが決まっていなくて

も良い)、本委員会に諮りたいとの事。詳細が決まった段階では主査、幹事で判断出来るだろうとの趣旨。

- 学会員ではないが催し物に参加した際の履歴を貯める「登録メンバー」に関する仕組み(CPD)が来年度からなくなる。
- メールマガジンに国際学会等の論文募集についても流す事になった。但し、極力早い時期(ファーストアナウンスのあった時期)が良く、アブストラクトの締切期日を必ず書く。催し物の案内は、基本的に1回のみである。2回目主査、幹事で判断し、必要事項のみ送信する。
- 大学院インターンシップ設備系 WG 報告について説明があった。内容について意見があれば、年内に主査まで送る。
- 各委員会の予算の執行状況等について説明があった。
- 各小委員会の活動計画(資料 No. 4-1)は承認された。WG の活動計画が提出されていない小委員会があるので活動計画と名簿を提出する事。

3. 審議事項

- 「都市・建築空間における音声伝送性能評価規準・同解説」について、AIJ-ES 作成フロー(資料 4-2)における手続きとして、佐藤(洋)主査から報告(資料 No.4-3、4-4)があった。
 - ・ 規準の考え方、構成、また DS からの変更点等について説明があり、質疑応答があった。
 - ・ 何か意見があれば、11月22日くらいまでに個別に佐藤(洋)主査に伝える。
- 学会賞論文部会委員の推薦について、音環境から特になし。奨励賞委員については、田端主査より坂本先生に就任を打診する。
- シンポジウムの催し物実施計画書「音を巡る空間設計の可能性ー音楽ホールだけではない音響設計ー」について、羽入主査から説明があった。
 - ・ 配付資料をパワーポイントの縮刷とするので、カラー印刷とするか否かについて検討したらとの意見があり、可能性を探る事になった。催し物名称に「第 69 回」と入れる事になった。

4. 小委員会・WG 活動報告

固体音小委員会(中澤主査、堀之内幹事代読)

- 10/4 に第 6 回、11/8 に第 7 回の小委員会を開催。次回開催は 12/10。
- 床衝撃音に関する聴感評価実験に関して、カテゴリ尺度の表現を一部変更して実施した結果と、その整理方法等について検討した。
- 床衝撃音遮断性能に関する音環境規準、評価方法について、音源をボールとタッピングマシンとし、評価量を A 特性床衝撃音レベルとした場合、および音源をバングマシン、ボールとタッピングマシンとし、評価量を L 値と A 特性床衝撃音レベルとした場合の規準案の叩き台について、検討した。
- タッピングマシンによる L 数と A 特性床衝撃音レベルの対応関係について、委員からの提供データに基づき検討した。
- 床衝撃音の評価方法に関して、2011 年度大会 OS に投稿する事を目標に今後活動を進める。
- 固体音測定法 WG を 10/7 に開催、次回は 12/9 の予定。建築学会大会報告から、固体音に関する文献リストを作成している。本 WG は本年度で廃止し、来年度から鉄道固体音測定法検討 WG として設置申請書を提出した。

集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会(濱田主査)

- 10/18 に開催、次回は 12/10 予定。
- 見直しを進めていた室内発生音アンケート用紙の最新版を決定した。
- 次年度活動計画案を審議し、具体的な活動内容を調整した。
- 委員から提供された鉄道騒音の評価方法(通過時の騒音レベルの最大値と等価騒音レベルの予測計算)について意見交換をした。

建築音響測定法小委員会(宮島主査)

- 第 9 回を 10/20 に開催、次回は 1/12 予定。
- 音環境規準検討小委員会からの遮音性能の A 特性評価に関する依頼に関して、委員からの提供資料に基づき意見交換をした。
- A 特性評価する事の妥当性について、また計算の前提となる騒音のスペクトルについて、委員よりの提供データに基づき検討する。
- 2011 年度大会 OS への投稿に関して、次回開催くらいまでに目次+ α 程度の叩き台を作成する。

室内音響小委員会(羽入主査)

- 11/17 に第 3 回を開催、次回は 1/19 を予定
- シンポジウムの内容について議論した。

- 音響設計の事例集の作成に関連して、事例の集め方、ユーザーのニーズ、フォーマット等について議論した。2013年度までに形とする事を目標としている。今年度の終わりまでに事例集のプロトタイプを作るためにデータを集めている。
- 音響指標 WG は 11/12 開催、次回 1/17。ISO3382 が改訂されたので内容を議論した。また、対応したベンチマーク作成を継続しており、今年度中に試作品を作る事を目指している。
- スピーチプライバシーWG は 10/12 開催、次回は 12 月。委員の音響技術への執筆に関連して、各自の研究内容について議論した。InterNoise に合わせて、サテライトシンポジウムが開けるかについて検討している。

音響数値解析小委員会（佐久間主査）

- 10/27 に第 3 回を開催。
- シンポジウムの内容について最終確認した。
- オープンアコースティックスの活動が本年度で終わるので、オープンアコースティックスを活かす形で特別研究委員会に星主査として応募する。結果は 1 月末くらいに分かり、もし認められなかった場合は、本小委員会の WG として活動したい。
- 書籍出版後の講習会開催について議論した。また、出版物の内容の読み合わせを行っている。

音環境規準検討小委員会（平松主査）

- 10/13 に第 3 回の小委員会を開催、10/29 に規準・設計指針の合同 WG を開催。
- 10 月中の目次案と構成案の提出を求めていたが現時点で半分程度の集まり具合のため、11/15 に再度の依頼を出した。また、クロスチェック作業を進めるため、クロスチェック表を作成し、配布した。
- 次回は、12/2 に小委員会、12/13 に合同 WG を開催予定。

企画・広報 WG（峯村主査）

- 11/5 に開催、次回は 1/14 を予定。
- 研究動向の調査は、データを入力しながらフォーマット修正を検討している。主目的である研究のマッピングができるように分類項目を決めていくが、具体的には SWG で検討を進め、収束させる。また、データ管理ソフトについても検討する。
- 住まい方マニュアルは、BCS でも同様の企画があるが、立場の違いもあるので建築学会として答申すると言う位置づけで考えている。今年度末には一覧表ができる予定であり、できた時点で音環境運営委員会に諮る。扱い方等について議論頂きたい。

5. 他学会の予定

日本音響学会・建築音響研究会	11/22	東京大学（本郷）
	12/15	神奈川大学（横浜キャンパス）
	1/22	浜松アクトシティ
	2 月休会	
	3/18	日本大学（駿河台）
日本音響学会・騒音・振動研究会	12/17	京都大学（キャンパスプラザ京都）
	1/25	新潟大学（駅南キャンパス）

6. その他

- 平光委員より、CASBEE の 2010 年度版は、音環境運営委員会からの意見が概ね反映されていると見られるとの説明があった。
- 田端主査より、次年度の音環境運営委員会の主査が年内に決まるので、メールでお知らせするとのことがあった。

7. 次回の予定

次回は、2011 年 2 月 21 日（月）17:00～ 建築会館・会議室

2010 年度 音環境運営委員会予定		
第 1 回	2010.5.19(水)	実施
第 2 回	2010.7.29(木)	実施
第 3 回	2010.9.27(月)	実施
第 4 回	2010.11.18(木)	実施
第 5 回	2011.2.21(月)	(決定)

